

# 公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会 平成29年度事業報告（概要）

## I 公益目的事業

### 1. 農林水産・食品分野における試験研究及び技術開発に功績ある者の表彰

#### 1) 第73回農業技術功労者表彰

農業技術・経営の研究又は技術普及に顕著な功績を挙げた功労者を対象とする農業技術功労者表彰事業を農林水産省と共催した。選考委員会を開催し6件を選考するとともに、表彰式・祝賀会（12月8日（金）三会堂ビル9階石垣記念ホール）を開催した。

#### 2) 第18回民間部門農林水産研究開発功績者表彰事業

民間部門における農林水産研究の優れた功績を表彰する第18回民間部門農林水産研究開発功績者表彰事業を農林水産省と共催した。選考委員会を開催し協会会長賞1件を含む6件を選考するとともに、10月4日（水）アグリビジネス創出フェア2017（東京ビッグサイト）メインステージにおいて表彰式を開催した。

#### 3) 第13回若手農林水産研究者表彰事業

優れた功績をあげた若手研究者または将来の技術革新等につながる優れた研究業績をあげた若手研究者を表彰する第13回「若手農林水産研究者表彰事業（農林水産省農林水産技術会議主催）」に協賛し、選考委員会及び表彰式の開催を支援した。表彰式は10月4日（水）アグリビジネス創出フェア2017（東京ビッグサイト）メインステージにおいて開催した。

#### 4) 農事功績者表彰事業候補者の推薦

農事功績者表彰事業を主催する公益社団法人大日本農会に推薦したところ、深谷 富夫氏に「緑白綬有功章」、敷島製パン株式会社代表の藏満 正朋氏他に「名誉賞状」が授与された。なお、表彰式及び祝賀会は11月15日（水）に三会堂ビル9階石垣記念ホールにて開催された。

### 2. 農林水産・食品分野におけるイノベーション促進のための支援

#### 1) 情報の提供・普及

##### (1) 講演会、セミナー等の開催

農林水産業、食品産業及び関連産業を取り巻く重要な技術課題を取り上げ、技術情報交流セミナー等を開催した。

##### (2) 機関誌の発行、情報のホームページ等での公開

機関誌「JATAFF ジャーナル」を毎月1日に1,700部を刊行した。ホームページの運営ではコンテンツの充実を図った。ページビュー（閲覧ページ数）は年間約210万、延べ訪問数は約41万件であった。また、イベント、講演会、最新研究成果・事業実施情報等をメールマガジンとして、JATAFF 正会員希望者にJATAFF ニュース（115号～138号、他に号外4号）を配信した。この他、公設試験場所の最新の研究成果情報等を収集し、新技術として営農活動に寄与しうる課題を選定し、情報誌「グリーンレポート」掲載原稿を作成した。

## 2) 新産業の創出、研究開発・成果の普及のための調査・支援

### (1) 「知」の集積による産学連携推進事業のうち知的財産の技術移転加速化事業及び産学連携支援事業

農林水産業・食品産業の成長産業化を推進するため、昨年度構築された「知」の集積と活用の場という産学連携の仕組みの中で、全国の活動組織を集めたコンソーシアムの代表機関として、全国に配置した高度な専門知識を有するコーディネーター（CD）を駆使し、他分野との融合を含む産学連携の更なる強化を図ることにより、知識・技術・アイデアを集積させ、革新的な研究成果を生み出し、それらをスピード感をもって事業化・商品化に導く。

全国規模及び地域において技術交流展示会やセミナー、知的財産に関する研修会を開催するとともに、知的財産に関する調査・調整等の支援により、「知」の集積と活用の場における技術移転の加速化を図った。

### (2) 農林水産・食品分野における研究成果の普及状況に関する調査等

「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業（農食研究推進事業）における研究成果の普及状況把握・分析調査等に係る業務」委託事業において平成24年度に終了した136課題及び27年度に終了した92課題の研究成果の普及状況の調査、農食研究推進事業の研究課題の審査・評価関連補助事務、29年度実施中の176研究課題の進行管理の支援等を実施した。また、60名の専門POを配置して課題の進行管理業務を実施した。

### (3) 新たな提案公募型研究事業における外部評価委員候補者選定調査等

平成30年度に実施予定の新たな提案公募型研究事業を早期に研究開始できるよう、採択に向けた審査を行える専門家の発表論文等を調査して審査候補者名簿を作成し、それを基に個々の課題提案の専門分野を分析することによって、適切な審査を行える専門家を選定するための事業を実施した。

### (4) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業における研究課題の進行管理調査等

「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の進行管理調査業務を行うため、20名の専門POを配置し、本事業において実施中の16研究課題の進行管理の支援等を実施した。

### (5) 植物品種の保護、開発等に関する調査研究

#### ア 「植物品種保護戦略フォーラム」の活動

植物品種育成者権の保護とその活用の促進に寄与するために「植物品種保護戦略フォーラム」の事務局を担い、植物品種育成権侵害対策や活用に関する活動として、品種保護制度と知的財産、種苗産業に関する施策、植物遺伝資源などをテーマとした講演会の開催、フォーラム関係者への情報提供(PVP17-1～152)、登録品種の統一表示マーク(商標「PVP」)の普及等に取り組んだ。

#### イ 「新品種産業化研究会」の活動

既存の品種とは特徴の大きく異なる植物の新品種を用いて新しいビジネスを展開し、地域経済の活性化に資するため、「新品種産業化研究会」とその下に設けられた「すいおう分科会」及び「油糧米分科会」の事務局を担った。

#### ウ 東アジア包括的植物品種保護戦略事業

東アジア各国の植物品種保護(Plant Variety Protection、PVP)制度の整備・充実に支援し、その国際調和を図るための活動を実施した。

#### エ 気候変動等に対応した海外遺伝資源の取得に係る枠組み構築委託事業

遺伝資源保有国と遺伝資源の取得・利用に関する枠組みを構築することにより、今後の遺伝資源の導入促進に資するための本事業のうち、事業の実施主体である三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)から業務請負により、東南アジア地域での植物遺伝資源調査を実施した。

#### オ 次世代育種技術研究開発プラットフォーム

遺伝資源の有効活用とゲノム編集などの次世代育種技術を利用した新品種開発とその社会実装を図るためのビジネスモデルを作成し、モデル実現に必要な技術課題等についての研究開発を企画提案することを目的とした「知」の集積による産学連携推進事業の研究開発プラットフォームを構築、管理運営機関として活動を推進した。

#### カ 植物品種等海外流出防止緊急対策事業(28年度補正予算、定額補助)

コンソーシアムの代表機関として、海外において品種登録出願を行うことが我が国農産物の輸出力強化につながるものについて、海外出願に係る経費の支援を行うとともに、当該国への出願のためのマニュアルの作成、相談窓口の設置などの活動を進めた。

#### キ 植物品種等海外流出防止総合対策事業(29年度予算、1/2補助)

コンソーシアムの代表機関として、海外において品種登録出願を行うことが我が国農産物の輸出力強化につながるものについて、海外出願に係る経費の支援を行うとともに、当該国への出願のためのマニュアルの作成、相談窓口の設置及び伝統野菜等の種苗資源の保護の活動を進めた。

#### ク 植物品種等海外流出防止緊急対策事業(29年度補正予算、定額・1/2補助)

コンソーシアムの代表機関として、海外出願に係る経費の支援を行った。

#### (6) 地理的表示産品情報発信委託事業

我が国農産物の国際的知的財産の保護及び輸出促進を図る観点から、地理的表示保護制度の活用の推進につなげるため、我が国の地理的表示登録産品の情報を国内外の関係者にわかりやすく発信するためのウェブサイトを制作し、3月28日より公開した(平成29年6月23日までに登録された38産品が対象)。

### 3. 農林水産・食品分野における試験研究、技術開発を振興するための助成及び先端産業技術の開発

#### 1) 研究の助成「新稲作研究会事業」

我が国の土地利用型農業の活性化及び需要に応じた農業生産の拡大・環境保全に資するため、低コスト稲作、水田高度利用、野菜果樹作等の機械化一貫栽培体系の確立と普及を目的とした試験及び現地実証展示圃事業を、試験研究機関及び普及機関に委託して27課題を実施した。

## 2) 農林水産・食品産業マイクロ・ナノバブル技術研究組合の事務局活動

マイクロバブル発生装置利用に関する可能性調査、大学、企業等の情報収集と会員等への発信、シンポジウム・勉強会・視察会等を開催するとともに、「知」の集積と活用において「農林水産・食品産業ファインバブル研究開発プラットフォーム」の一員として、他分野とのマッチングを図り、研究開発を推進した。

## 3) 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）課題

NBTの社会実装のための社会科学的調査と導入遺伝子残存や変異発生等に関する科学的知見の集積

NBTを利用して開発された農林水産物の産業化を推進するための会議の事務局を担当するとともに、国民の受容レベルの推測、上市・普及に供するための具体的戦略・手法の提案に向けて取り組んだ。

## II その他の事業

### (1) 農林水産技術同友会及び全国農業関係場所長会の事務局活動

### (2) 民間育成品種等の公的機関での評価試験委託

会員企業2社からの要請に基づき、会員企業が育成した品種の評価試験を関係試験研究機関へ委託して延べ5県で実施した。

### (3) 専門部会活動 「安全性・品質保証部会」

部会活動を通じて、会員活動の充実と、関係官庁、関係業界との情報交換、さらには会員参加による効果的な事業運営を図ることを目的として、食品表示関連テーマを始めとして講演会を3回開催した。

## III 総務関係

### (1) 平成29年度定時総会

6月15日(木) 13:15～14:40 三会堂ビル9階石垣記念ホール

### (2) 理事会

第1回理事会	5月22日(月)	13:30～15:00	三会堂ビル2階 A会議室
第2回理事会	6月15日(木)	14:50～15:00	三会堂ビル9階 第1会議室
第3回理事会	11月1日(水)	10:30～11:40	三会堂ビル2階 A会議室
第4回理事会	3月9日(金)	10:30～12:30	三会堂ビル2階 A会議室

### (3) 事業監査

5月12日(金) 10:00～12:10 JATAFF 会議室

### (4) 運営委員会

9月26日(火) 13:30～15:30 三会堂ビル2階 S会議室